

本荘高校端艇部

小松 煌

U19 日本代表活動





2025 World Rowing
U19 Championships
In Trakai, Lithuania

女子シングルスカル総合 17 位

リトアニア・トラカイで行われた U19 世界ジュニア選手権に女子シングルスカルで出場した。初めての世界大会という舞台でたくさんのことを学ぶことができた。リトアニアへの移動の日は思っていたより時間がかかり、体力的にもかなり疲れた。また、時差や食事などに慣れることにもとても苦労した。大会会場では身長も体つきも違い、その迫力に圧倒された。異国の言語が飛び交い、いつもとは全く違う雰囲気にも呑まれそうだったが、自分自身に集中し、レースに備えた。予選のタイム順で次の組み合わせが決まるので予選の結果がとても重要になる。予選のレースは、リトアニアとラトビアがスタートからスピードの加速感が自分とは全く違い、すぐに見えなくなった。スタートでは見えていたクロアチアは 1000 メートルあたりからさらにスピードを出し始め、着いて行こうと食らいつuitしたが、1500 メートル地点からさらに上げてくる体力には追いつくことができなかった。6 艇中 5 着と、海外選手との大きな差を感じた。2 日後に行われた準々決勝でも、後半から減速することなく上げてくる艇のスピードに追いつくことができず、目標としていた Bfinal ではなく、Cfinal への進出となった。Cfinal ではスタートは良いリズムでコンスタントまで進めることができ、イタリア、ドイツと並びながら 1000 メートルを通過した。1250 メートルくらいから少しずつスパートをかけていき、3 艇が競り合いながら 1500 メートルを通過した。ラストスパートを果敢に仕掛け、2 艇を抜いてゴールしたかったが、海外選手の底力に負け、5 着でのフィニッシュ、総合順位 17 位という世界の大きな壁を実感させられる結果となった。Cfinal のレースはとても悔しい結果となったが、国際大会でしか体験できない競り合いができ、最後まで全力を尽くせたことに達成感を感じた。艇を効率的に進める技術的な面や、後半の爆発的なスピードを出す体力は自分にはまだまだ足りていないことが分かった。今の練習に向き合う態度や、練習の質を変えて、今よりもさらにレベルアップを目指し、世界で戦うことのできる力をこれからの練習で身につけていきたい。そして日本代表選手としてまた世界大会にリベンジできるように努力し続けていきたい。

予 選

#1	16:00	Heat1
1着	UKR	8:12.59
2着	DEN	8:13.03
3着	MDA	8:18.56
4着	NED	8:23.60
5着	BUL	8:37.53
#2	16:05	Heat2
1着	AUT	8:07.55
2着	SLO	8:13.92
3着	SVK	8:15.15
4着	GER	8:21.42
5着	ISR	8:53.54
#3	16:10	Heat3
1着	LTU	8:10.88
2着	LAT	8:16.69
3着	CRO	8:24.97
4着	JPN	8:30.60
5着	DOM	9:26.61
#4	16:15	Heat4
1着	GRE	8:04.16
2着	CAN	8:13.37
3着	AUS	8:29.88
4着	FIN	8:49.09
5着	TUN	8:51.10
#5	16:20	Heat5
1着	ESP	7:49.80
2着	CHN	7:51.67
3着	NOR	7:52.99
4着	ITA	8:20.87
5着	HKG	8:41.05

1-2->Q,
1HT-14HT->Q,
15HT->ELM

準 決 勝

#45	11:02	QF1
1着	ESP	8:25.11
2着	SLO	8:30.85
3着	CAN	8:31.80
4着	CRO	8:35.33
5着	NED	8:37.77
6着	ISR	9:10.78
#46	11:08	QF2
1着	GRE	8:25.44
2着	LAT	8:31.59
3着	DEN	8:35.22
4着	GER	8:37.03
5着	AUS	8:57.42
6着	TUN	9:26.14
#47	11:14	QF3
1着	AUT	8:28.06
2着	NOR	8:32.40
3着	CHN	8:32.54
4着	ITA	8:49.65
5着	JPN	8:55.95
6着	FIN	9:17.63
#48	11:20	QF4
1着	UKR	8:34.66
2着	MDA	8:39.07
3着	LTU	8:45.88
4着	SVK	8:53.76
5着	BUL	9:04.14
6着	HKG	9:22.27

1-3->S,
1QT-6QT->FC,
7QT-12QT->FD

Final C

#98	12:20	FinalA
1着	GRE	8:25.97
2位	ESP	8:30.18
3位	AUT	8:32.61
4位	CHN	8:36.90
5位	LTU	8:39.19
6位	UKR	8:39.74

#85	9:40	FinalB
7位	NOR	8:25.96
8位	DEN	8:32.29
9位	LAT	8:33.91
10位	SLO	8:36.36
11位	MDA	8:36.78
12位	CAN	8:38.76

8/9(土)		
#59	11:08	FinalC
13位	CRO	8:01.83
14位	SVK	8:06.05
15位	GER	8:06.67
16位	ITA	8:08.31
17位	JPN	8:10.73
18位	NED	8:12.58

8/9(土)		
#54	10:36	FinalD
19位	BUL	8:17.79
20位	AUS	8:23.51
21位	HKG	8:29.71
22位	ISR	8:31.12
23位	FIN	8:40.26
24位	TUN	DNS



2025 Asian

2025
asian
rowing
U19 & U23
Champion

Rowing Junior

ASIAN ROWING U-19 & U23 CHAMPIONSHIPS

Championships

In 中国·沈阳



女子クォドルプル 第3位

中国の瀋陽で行われた U19 アジアローイング選手権に女子クォドルプルで出場した。U19 世界選手権が終わり、帰国した一週間後に戸田での事前合宿が始まった。4日間という短い期間の中、アジア選手権で戦うことができるのか不安を感じていた。はじめは4人の感覚や意識が合わず、苦しい状況が続いた。だが、メダル獲得の目標を諦めたくないという4人の強い思いが、リズムやスピードにおける一体感へとつながっていった。特に、短い休憩時間で感覚の違いを確かめ、お互いにアドバイスをし合い、先生方にアドバイスをもらうことでスピード感を掴むことができ、自信を持って大会に出発することができた。スタートはとて素晴らしいリズムで立ち上げ、コンスタントまで繋げることで、トップで艇を進めることができた。750m 地点からベトナムが加速し始め、1000m地点ではもう見えない位置まで出られてしまった。また、中国にも 1000m 地点からスパートを掛けられ、1500m地点からさらに上げてくる艇のスピードには追いつくことができなかった。他の3クルーには差をつけて3着でゴールした。1000m からのリズムが上がりにくかったことや、艇のスピードが伸びにくかったことなどを反省し、決勝ではスタートからゴールまでいいリズムとスピードで漕ぎきり、1位でゴールすることを目標に、レースに挑んだ。スタートは予選と同じくトップで艇を進めることができた。また、スピードを加速させてくるベトナムや中国に焦ることなく、自分たちのプラン通りに 1000m 地点から少しずつスパートをかけていった。だが、1250m あたりからラストスパートをかけるところまで落ちることのない艇のスピードには体力的な面で負けてしまった。悔しい結果となったが、4人が最後まで諦めずに声を掛け合い、全力で漕ぎきったことで銅メダルを獲得することができた。合宿期間から大会にかけて、クルーメンバーの4人と試行錯誤し、最後まで諦めずに戦い抜いたこの経験は自分にとってとても貴重な経験になった。

世界大会、アジア大会の2回の国際レースで感じた海外選手との体力差や練習量の差を埋めるために練習の質を高め、さらなるレベルアップを目指していきます。

U23 カテゴリーでも日本代表選手として国際大会にリベンジしていきたいです。この大会に関わってくださった方々や応援してくださったたくさんの方々のお陰で、全力でレースを楽しむことができ、貴重な経験ができました。本当にありがとうございました！！



端艇部のインスタグラムでも、各種大会結果等を見ることができます。

ぜひチェック、フォローしてみてください！

